

ありんに便り

2014年
10月30日発行
通巻第20号

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報



「ありの会」へのご意見・ご要望は、〒192-0355 八王子市堀之内 1236-8 社会福祉法人 由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

由木かたくりの会のグループホームの見学会を実施しました



10月21・22日、会員36人の参加で、設計して頂いた加藤さんの説明付きの見学会を行いました。かたくりの会としては初のグループホームで、男性6名、女性6名の方が12月より入所される予定です。

外観は、男子棟、女子棟の完全分離型ユニットで、平屋で目が行き届き易く、軽量気泡コンクリートを外壁に使用して地震や火災に強い作りです。



2012年6月当時の建設予定地(上左)、完成したGH北東側から(上右)南西側から(右)

共同空間であるリビングは明るく開放的で、床暖房でぽっかぽか、無垢の木をふんだんに使いぬくもりと空気の乾燥を防ぎ健康的です。



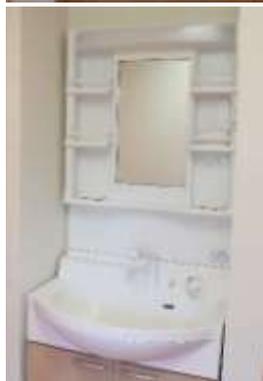
個室は明るく、ペアガラス、収納付きです。



トイレが3箇所、洗面2箇所です。ゆっくり使えます。

加藤さんが、自分の子供が住むとしたらと考え、マイホームのようなグループホームになるように、自然エネルギーを活用し、安全で快適な住まいになる工夫がたくさんされていました。

見学に行った私自身も住みたいと思えた、素敵なグループホームになっていました。



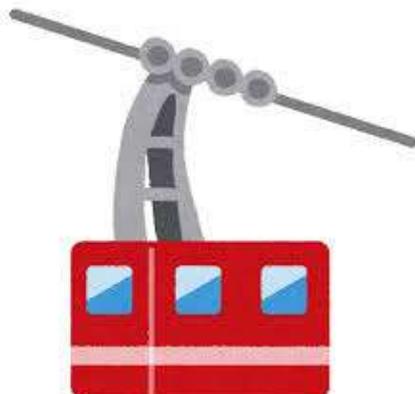
台所（上左）、浴室（上中）、洗濯室（上右）洗面所（左）



多摩センターでのハロウィン祭りに、毎年生活介護の人たちがカボチャ作りをしています。中央の一番大きなものがかたくりの人たちが作ったものです。

ぶらさdeかたくり旅行 一泊旅行で新潟県湯沢に行って来ました

まだ暑い9月4日(木) お母さん達に見送られ、午前9時前に南大沢を出発しました。途中トイレ休憩し、昼食は絶品「水沢うどん」を堪能しました。伊香保のおもちゃと人形・自動車博物館を見学しました。湯沢ニューオータニホテル近くの湯沢高原アルプの里でロープウェイにも乗りました。



ホテルでは夕食に新潟のコシヒカリを競い合っ
て食べていました。温泉
にも入りました。

翌日には清津峡溪谷トンネルを観光し、レストハウス越後（湯沢錦鯉ランド）で昼食。月夜野びーどろパークではサンドブラストで絵や文字を書いて、世界で1個だけのコップを作りました。持ちきれないお土産と元気いっぱい笑顔で、お父さん・お母さん達の待つ南大沢に定刻通りに帰って来ました。利用者・保護者にとってもリフレッシュの二日間でした。職員の方々、お世話になりありがとうございました。

計画相談の説明会が開かれました

10月7日(火) かたくりの家 2Fワークルームにて、30名の保護者の方が出席して説明会が開かれました。唐戸さんの司会進行、炭谷理事長よりあいさつの後、相談支援センター レガールを横浜線みなみの駅近くに、12月1日より開設するとの説明がありました。

その後、唐戸さんより計画相談支援の利用に関する説明がなされました。

平成24年4月に法律の改正等により、平成27年3月末までに障がい福祉サービスを利用する人は利用計画書を作成することが必要となりました。

計画相談支援は(八王子市から指定を受けた事業者)レガールへ利用希望申し込み → 利用契約・面談 → 利用計画書 → 八王子市に提出と進められ、利用者は、利用計画にもとづいてサービスを利用することが出来ます。



「フェスタかたかご」開催のお知らせ

今年で4回目を迎える11月8日(土)に開催予定の「フェスタかたかご」は法人の事業として利用者職員が全員参加する日中行事となり、以下のような目的を掲げて行われる事となりました。

- 1、施設の活動内容を地域の方々に知っていただくための良き機会とする。
- 2、メンバーが主体的に関わることによりモチベーションを高める。
- 3、利用者と保護者、職員及び地域の方々の相互理解と親睦を深める。

この目的を達成するためにより多くの会員の方々に参加していただき最大限の協力とサポートを御願います。尚、「フェスタかたかごの」開催当日は平常通り送迎があります。又、代休は11月10日(月)になります。法人各事業部での活動内容もほぼ決まり以下になりました。

- ・由木工房：畑の中のレストラン・草木染め・野菜及び製品販売
- ・かたくりの家：ジュースと自主製品販売
- ・ベーカリー、レストラン：レストラン経営(軽食、飲み物)パン販売
- ・ぷらざ：クッキー・シフォンケーキの販売
- ・後援会：バザー、輪投げ

ありの会としての活動内容は、釣りゲームと焼きそば、フランクフルト、アルコール系の飲み物の販売などです。前日、当日と会員の皆様には宜しくご協力お願いします。



かたくり製品の販売・配達先のご紹介

今回の販売紹介は大妻女子大学の様子取材してきました。大学の授業がある木曜日の11時30分から12時50分の昼休みの時間にかたくりの利用者さんと小川教授のゼミの学生さんと指導員さんで販売します。

「昼休みの短い時間に販売するのでもう少しレジで待つ時間を少なくしてほしい。学生さんがサポートしすぎではないか。」という意見も聞きました。



販売先が福祉人間福祉学科の学部で学生さんの多くが社会福祉士になるために1ヶ月の実習をするので知的障害者に対して理解があるとゼミを担当している小川教授はおっしゃっていました。学生さんはお菓子やパンが美味しいので買います。障害のある人が一生懸命販売しているのを見るのがうれしいと話してくれました。

それに答えるように対応する利用者さんの笑顔が素敵でした。



お知らせ

◎ ありの会の会費納入を忘れていませんか？

日頃よりありの会の活動にご協力頂き、有難うございます。
今年度の会費納入がまだお済みでない方がおられます。会費納入にもご協力願います。

「由木かたくりの会」利用者の家族会である「ありの会」は、皆様方が納入される会費で運営されています。私たちは皆様のご協力を得て、かたくりの会の活動やイベント等をサポートしたり、提言や話し合いをしたりすることにより、利用者とそのご家族のために役立つよう努力しておりますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

ありの会・役員一同

◎ ワーク・グループ新設と人員募集

10月7日に行われたありの会の役員会にて「広報ワークグループ運用細則」が議決されました。ありの会としての活動では、会誌「ありんこ便り」の発行やインターネット上のホームページ「ありんこホーム」の内容更新などの情報技術が必要とされますので、これらを役員会へ助言・協力する専門組織を常設設置するものです。このワークグループの設置により、役員としてはPC技術やPC操作の得手不得手に関係なく誰でもが家族会の運営に参加出来るようになります。

これまでの経緯を踏まえ当面のグループ長は備前様（前ありの会会長）が担当しますが、ワークグループ員を3名ほど募集いたします。PCが好き、得意、興味があるのでやってみたいという方はお申し出て下さい。細則の全文はホームページの「規約」を参照して下さい。

かたくりの会と私と

野口洋子

家に近いし、南大沢の喫茶にはよく行く。人と会うとき待ち合わせ場としてもよく利用する。やはり一番くつろぐ場所であるけど、一人で行ったときなど一番いろんなことが思い出される場所でもある。もともとこの文化会館は、八王子市の公共施設で、主ホールの手前のこの空間は、市民がいろいろなイベントに使用できるフリースペースであった。そこに1つの団体が固定的に店舗を構えて営業するとなると、それは問題にならないほうがおかしいと、いま冷静にふり返ると苦笑が浮かんでくる。その難問をクリアしたのは、なんといっても親たちのパワーの、そのすごさだった。行政にいわれても引き下がるのではなく、どうしたらOKにもっていけるか考え、行動に移す。3年余の労苦の末、かたくりの家（ログハウス）の建設にこぎつけたことが、もっとも大きな自信につながった。あのときに較べたら、どんな壁にぶち当たっても乗り越えることができると言い合い、励ましあってがんばってきた。

開店当初は地域の集まりがあると、喫茶の宣伝をして歩いた。いまは近隣の学校、保育園、幼稚園の先生方にも知っていただき、よく利用してくださる。行事時の大量の菓子を購入して下さったりする。この場所にかたくりの喫茶コーナーがあることは、もう当たり前前の光景になったのだ。開店は平成8年秋だったから、もう何年かと、テーブルの下でそっと指折ってかぞえてみたりした……。

開店当初は新聞で紹介されたり、もの珍しさもあって、10万以上売り上げた日がなんどもあった。それも数ヶ月もたつとさすがに落ち着くところに落ち着いてくる。それが1年も続いてくると、もう少し売り上げも伸ばしたいとか、もっといいケーキを作れないかなとか、いろいろ欲求もでてくる。ケーキなどのメニューはかたくりらしく手づくりでこだわり、野菜や果物を多く取り入れ、季節感のあるものをと1年がかりで完成させたものであった。お母さん方ほぼ全員にこのケーキ作りを学んでもらって喫茶に出してもらったが、長く続けると、いろいろ得手不得手もあるだろうし、高品質のものがかならずしも揃うとはかぎらなかった。

いつそのこと菓子工房をつくり自分らで作ってみようかということになった。思い立ったが吉日、それがかたくりの良いところ（悪いところでもあるかな?）、越野のアパートの3DKの1室を借り菓子工房としたのであった。平成9年4月であった。

ここではパウンドケーキとクッキーを主とし、ときどきに季節感を取り入れた果物、野菜を多くつけたものを作った。これがやはり一番人気があった。

南大沢の井上さんが引き続き指導して下さり、利用者は10人ほどいた。

ところが、ここはあまり居心地のいい場所ではないと感じられてきた。苦情があったわけではないが、なんかのびのびできない雰囲気があった。菓子を焼く甘い香りは通りがかりにちょっと匂ってくるのは素敵だが、それを1日中出しているわけだから隣室や近所の人には閉口しているのではないかなどと気を遣う。利用者の声や作業音とか大きくならないようやはり気兼ねする。やってみなければわからないものだ。

……あまり長くははいられない。もっと独立した、隣近所に気兼ねしなくていいような広い場所が欲しい。と思い立ったが吉日、どこか好いところはないかと、さっそく動き出したのであった。これが当時のかたくりの勢いというものだろう。越野のアパートはそれがいささか裏目にでたかもしれないが、まあ、自分らでもけっこういい菓子をつくれるという自信を持てた。だからもっといい設備と場所が欲しいとなったのだからと前向きにとらえることとする。

当時の、定例会で配った資料がたまたま出てきたので詳細がわかる。立て続けに4件の物件にあたっていた。最初は、松が谷の蕎麦屋のあと。見るととにかく汚たなかった。喫茶からも遠いし即No!

次に公社南大沢4丁目の店舗。それからやはり南大沢のニュータウン通りの店舗。それから南大沢近隣の地主さんと折衝した。店舗はこれだと思うものもあったが、なんといっても家賃と敷金が6ヶ月とどれも高く、自己資金の乏しい我々に手の届くものはなかった。

鈴木昇さんなら、喫茶の近辺に空き地を持っている知人がいるかもしれないと、前述の4件に行き詰っていた私は、ある日、鈴木さんを訪ねた。

このとき昇さんの側にいた奥さんのタエさんが、
「私の土地を使って」と言われた。

「え！」と私は絶句してしまった。鈴木さんにはこれまでずいぶんお世話になっているが、そのときは鈴木さんの土地を当て込んで行ったわけでは全然なかったからだ。タエさん名義の松木の土地だという。

「ああ、あのサツマイモ畑ですか」これまで何度か手伝いこいていた土地であった。これが現在の、松木の「ぷらさ de かたくり」誕生の第一歩であった。あのときタエさんがなにかでちょっと席を外していたら、「ぷらさ de かたくり」は現在とよほど違ったものになっていたかもしれない。人間の縁って不思議ものだなとつくづく思う。

土地が確保できたと
なると、あとは一瀉千里
(とまではいかなかったが)、
すぐに市福祉課に相談に行く。
120㎡～150㎡の建物に1800万円(都3/4、市1/4)の補助金が見込めることが確認された。6月に社会福祉協議会に申請書類を提出しなければならぬ。

そこで今度は社団法人東京建設士事務所協会建設相談室に相談に行く。1番の条件は堅牢であること。そのころ、ログハウスで利用者が飛んだり跳ねたりすると床のミシミシなる音が気になっていた。それと越野の工房では、利用者はなるべく大きな物音をたてないよう気を遣かって窮屈であったから、そういう考えとなったのであろう。それともう一つ、とにかく高くないこと、つまりなるべく安価にできること。これはもうかたくりにとりついた貧乏神みたいなもの(まあ、障がい者の施設はどこも似たり寄ったりであるが)。

結果は、外食レストランなどに多いプレハブ造りがもっともいいのではということであった。専門家がいうのだから、そうするしかないと思いつつも、そのころ外食すると、店の床を足でどんとどんと踏んでみたものだった。

第3号様式(第9条関係)

特定施設設置工事計画(変更)届出書(建築物)

年 月 日

届出者 住所 東京都八王子市松木 1-18-101
(特定整備主) 氏名 ぷらさ de かたくり
代表 野口 幸子
(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称並びに代表者の氏名及び印)
電話番号 0426-174-8653

東京都福祉のまちづくり条例第15条に規定する特定施設(建築物)の工事について、下記のとおり届け出ます。

記

1 所在地	東京都八王子市松木 1-18-101			
2 名称	かたくりの会 松木建物新築工事			
3 主要用途	児童福祉施設等(作業場)			
4 工事の種類	新築 増築、改築、大規模な修繕、大規模な模様替え、用途変更			
5 規模等	届出部分	届出以外の部分	合計	
	延べ床面積 (鉄骨造・地上2階・地下階)	166.86	0	166.86
内訳	用途()	㎡	㎡	㎡
	用途()	㎡	㎡	㎡
	用途()	㎡	㎡	㎡
	用途()	㎡	㎡	㎡
6 工事着手予定日	9年12月1日	7 工事完了予定日	10年3月15日	
8 連絡先	所在地及び名称 立川市第町3丁目5-22 協栄生命ビル5F 大和工務(人保) 担当者 高橋 政全 電話番号 0425-27-5073			

東京都福祉(まち) 東京都八王子市役所
受付欄 2010年11月5日 処理欄

注意 1 この届出書は、東京都福祉のまちづくり条例施行規則(以下「規則」という。)別表第2に定める建築物で、特定施設の欄に定める施設に使用してください。
2 「4 工事の種類」の欄は、該当事項を○で囲んでください。
3 「8 連絡先」の欄は、この届出書についての問い合わせ先を記入してください。
4 ※欄には、記入しないでください。
5 規則第9条第2項の特定施設整備項目表(別記第5号様式)及び別表第8に定める図書を必ず添付してください。

ぷらさの工事届

さあ忙しくなった。

どんな作業所を作ろうか、作れるか。近隣の製菓造りをする作業所を、数人のお母さん方と見学して回った。

自己資金もかなり必要となると想定し、全員でさらに食欲に資金づくりに奔走する。特に5月のゴールデンウィークの3日間は多摩市のガーデンシティに焼きそばで出店、数十万円の売り上げがあった。親たちが手分けして販売する間、所長や職員が自主的に現場にかけつけてくれて利用者の面倒をみてくれた。職員、親、利用者がいったいになってがんばる現場で私は何度も目がしらを熱くした。余談になるが、このときの所長は、会員に冠婚葬祭などで家をあけるときのなど、利用者を施設に宿泊させて対応してくれたことが何度かあった。私も、父の葬儀で郷里の札幌に行ったとき、千加良を3日間も面倒をみてもらったが、安心して預けられてとても助かった思い出がある。会員の間に、新しい施設を作るなら、緊急一時保護の場所を確保したいという要望がおのずから高まっていた。ぷらさの新しい作業所は1Fが菓子づくり、2Fを緊急一時保護の場にしたいという意見にまとまったのも自然の成り行きであった。

平成9年5月、角田建設、府中みんけん、大和工商リース（大和ハウス系列）の3社から見積りをとる。

6月、八王子市の社会福祉協議会へ緊急整備費の申請、1800万円を提出する。

9月中旬の定例会で検討し、大和工商リースに決定する。軽量鉄骨造、面積169.290㎡であった。

東京都から緊急整備費が高額なので審査会を開いて決めるという報告を受ける。審査会に提出する書類として「申立書」が必要とのこと。障害者施設として半永久的に使用するものであることを強調したものを提出した。

審査会を通して、大和工商リースと正式に契約書をかかわしたのは11月。こちらの条件としては、資金がないので、通常の工事前、中間と払う代金を0とし、補助金の振り込まれる完成から3ヶ月後に全額支払うものとした。担当の福岡さんが本社に出向き、社内で協議して了承された。

12月13日、地鎮祭。

さて工事が始まったが、東京都はこの年に福祉施設に関する安全条例を作成したが、その新条例に基づいた注文（難題）をいろいろってくる。その度に、市の福祉課の平塚さんに相談。彼とは長い付き合いでありいつも気軽に話せたのだ。都がいつか来たなかでやっかいだったのは、2階の和室についてであった。要するになんでこんな広い和室が必要なのかということだ。緊急一時保護の場にするとはいえない。それとするには別の届けが必要で審査の基準も違ってくる。平塚さんといろいろ知恵（悪知恵？）を搾り出しあってクリアーしていったものはいくつかある。

この頃うれしいことがあった。自己資金を稼ごうといっても私たちのがんばりだけでは限度がある。助け船を出してくれたのは学校の先生方であった。かたくり草創のころからなにかと助けてくださった藤谷先生や山下先生が中心となりかたくりを資金面で援助する後援会を立ち上げようと呼びかけてくださったのだ。何度も関係者が集まって話し合いを重ね、世話人（発起人）10人、会長は山下先生の大学の先輩にあたる首都大学の茂木俊彦先生（後に同大の総長）が受けてくださる。

平成10年2月中旬、ぷらさ de かたくり新館完成。越野のアパートから新館まで引越し。いったい何往復したことか。藤谷先生や親では臼井（父）さん、津田さん、備前さん、本間さん、石坂（マ）さん、馬場（父母）さん、野口（父母）が手伝った。

平成10年3月7日、後援会主催の1回目の荒馬座の公演が文化会館大ホールで行われた。後援会の資金づくりの企画であったが、かたくり関係でこれほど大掛かりなイベントは初めての体験であった。500枚のチケットを、保護者、教職員、かたくりの職員、ボランティアで各150枚ほどノルマで分担したのはなかなか大変ではあったが、かたくりの存在を相当PRできたと思う。もちろんこの収益から150万円も寄付された。

平成10年4月25日、ぷらさ de かたくり新館の落成式。会員の富沢さんの庭から摘んだたくさんのお花で飾られた。この式典には八王子市長と福祉課の4名が参列された。この種の式典に市長がでるのは本当に珍しいことと、後日福祉課職員のお話であった。

5月1日、緊急整備費補助金が振り込まれるので、大和工商リースの支払いをする。中間金を0にしてもらったこととか、社内で手続き的に面倒なことがあるらしく、なんと銀行前で直接現金で手渡したのもおもしろいことであった。

ここで建設関連の資金の内訳を記す。

緊急整備補助金	1682万円
後援会	150万円
共同募金	125万円
霊園事業	160万円

